

5. ワーク・ライフ・バランスについて

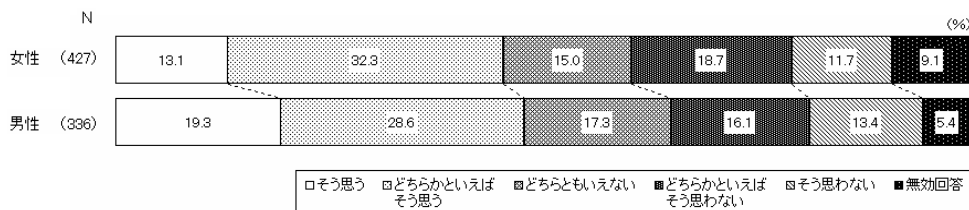
(1) 希望する時間の使い方ができているかどうかについて

問14 あなたは、仕事や家庭、地域・社会活動、趣味・娯楽など、自分が希望する時間の使い方ができていると思いますか。 【〇は1つ】

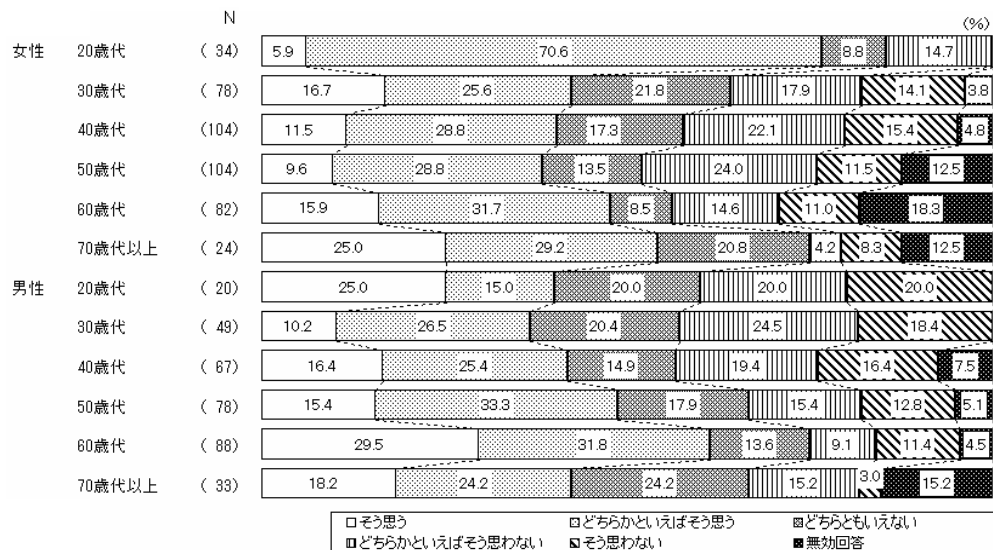
自分が希望する時間の使い方ができているかについて、肯定意見（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合）が46.1%、否定意見（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた割合）が30.0%となっている。



性別でみると、肯定意見は女性45.4%、男性47.9%と男性が2.5ポイント高くなり、否定意見については、ほとんど差は見られなかった。



性別／年齢別にみると、40歳代、50歳代女性と20歳代、40歳代男性で肯定意見と否定意見がほぼ同じ割合となったほか、30歳代男性では否定意見が肯定意見を上回った。



(2) 「時間を取りすぎていると思う活動」と「時間が取れていないと思う活動」

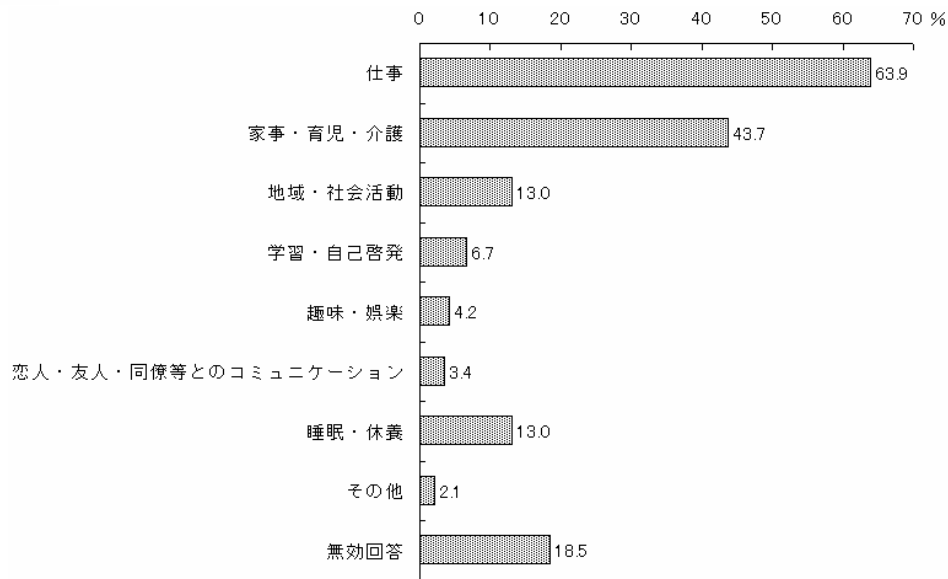
問14で「4 どちらかといえばそう思わない」または「5 そう思わない」を選んだ方のみお答えください。
その他の方は問17へ進んでください。

問15 あなたが「時間を取りすぎていると思う活動」、「時間が取れていないと思う活動」は、どれですか。それぞれ3つまで挙げてください。

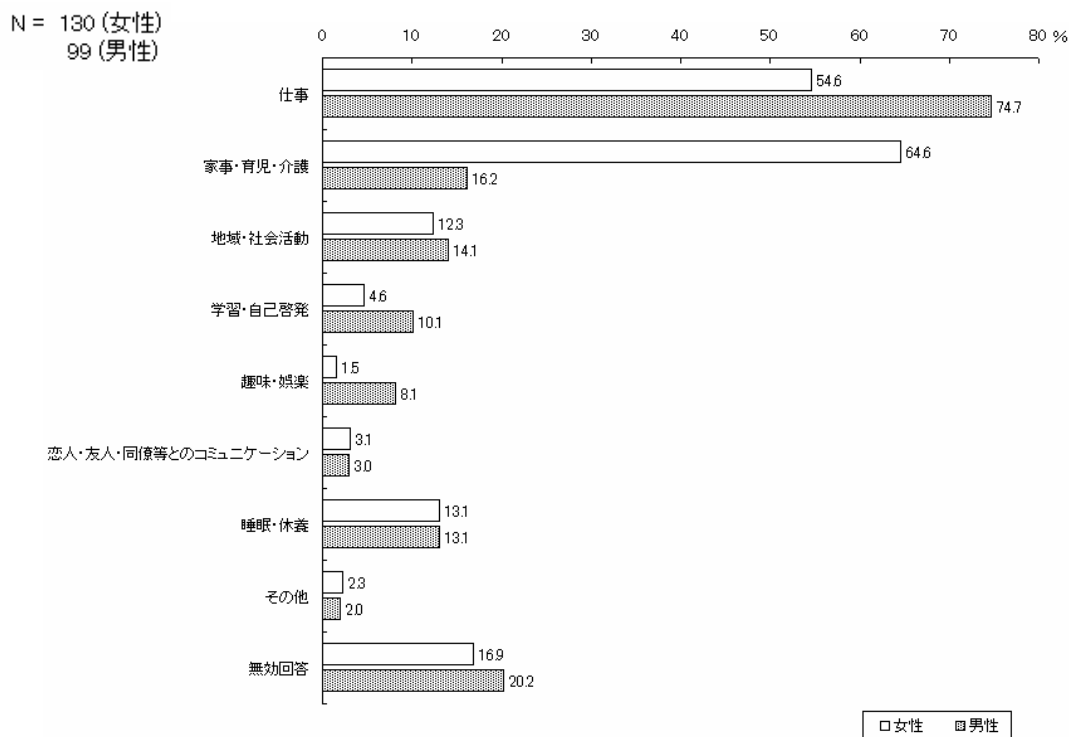
①時間を取りすぎていると思う活動

時間を取りすぎていると思う活動については、「仕事」（63.9%）という回答が最も多く、「家事・育児・介護」（43.7%）が次に多くなった。

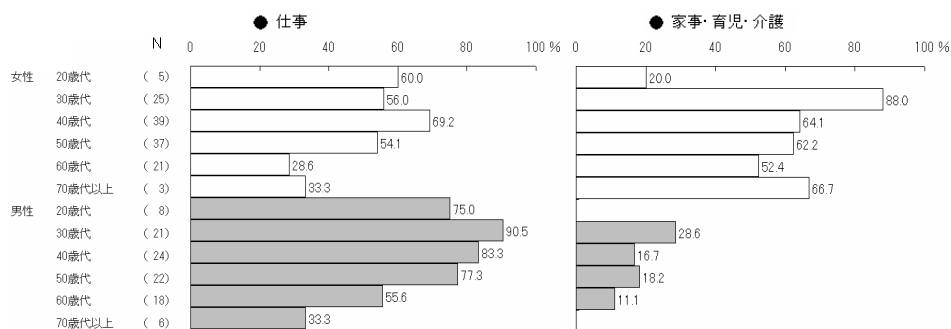
N = 238



性別にみると、「仕事」では男性が女性よりも 20.1 ポイント高く、「家事・育児・介護」では女性が男性よりも 48.4 ポイント高くなっている。



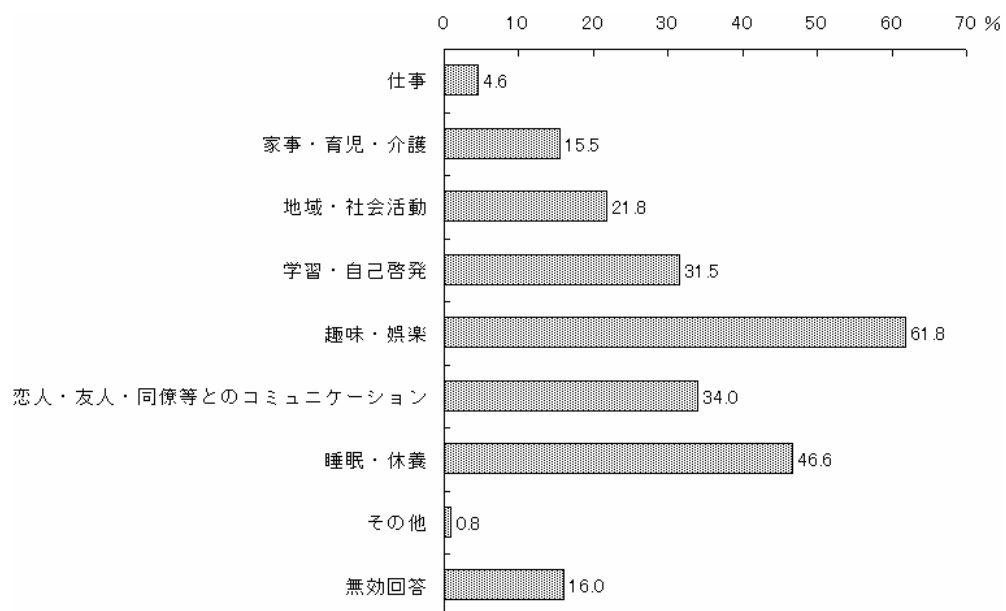
性別／年齢別にみると、「仕事」という回答は、20 歳代～50 歳代男性で高く、「家事・育児・介護」という回答は、30 歳代～70 歳代以上女性で高くなっている。



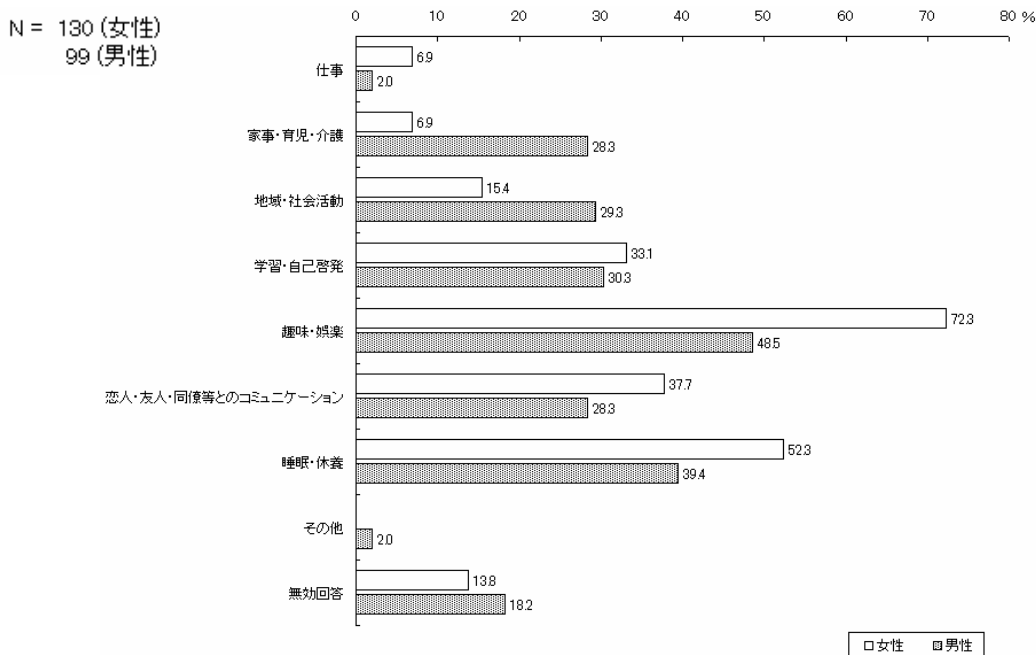
②時間を取れていないと思う活動

時間を取れていないと思う活動について、「趣味・娯楽」(61.8%)が最も高く、次いで「睡眠・休養」(46.6%)、「恋人・友人・同僚等とのコミュニケーション」(34.0%)となっている。

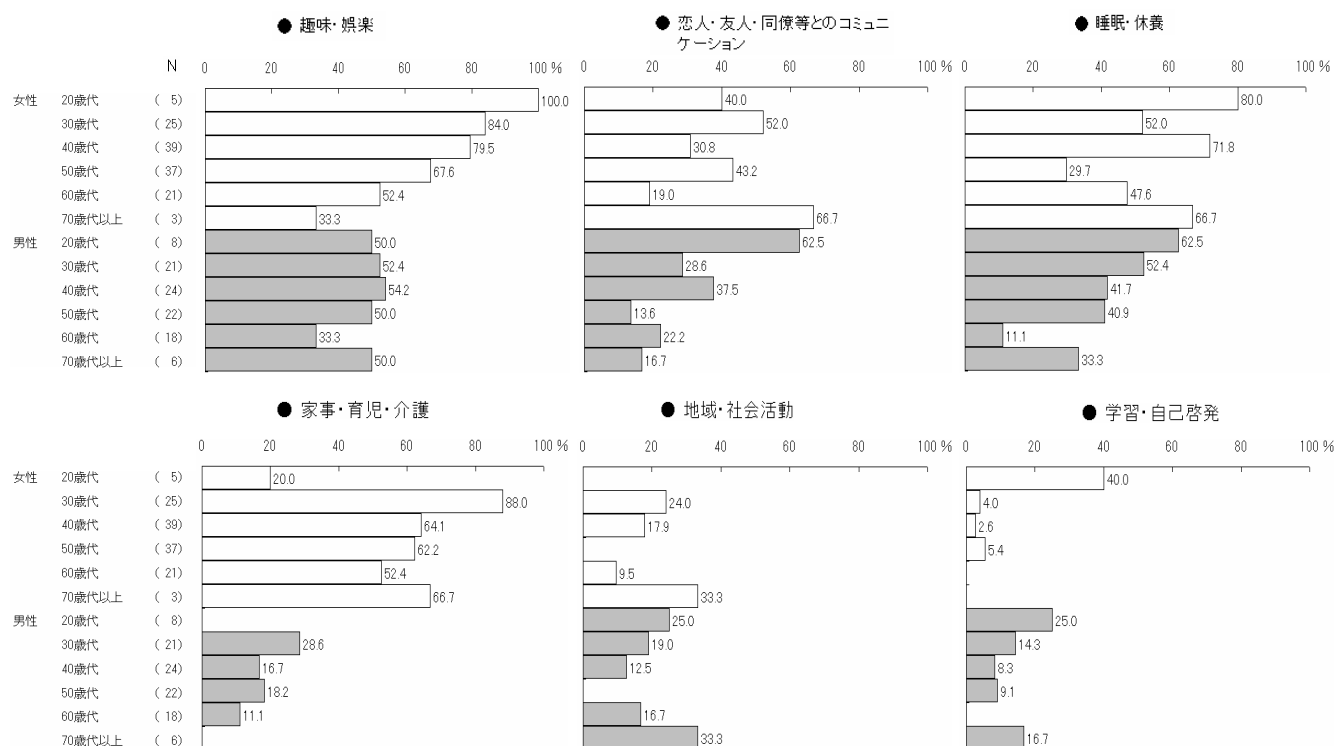
N = 238



性別にみると、「趣味・娯楽」で23.8ポイント、「睡眠・休養」で12.9ポイント女性の方が男性よりも高く、「家事・育児・介護」で21.4ポイント、「地域・社会活動」で13.9ポイント男性の方が女性よりも高くなっている。



性別／年齢別にみると、「趣味・娯楽」という回答は、女性で年齢が低いほど高い傾向がみられる。「家事・育児・介護」という回答は、30歳代以上の女性で高くなっている。「地域・社会活動」という回答は、男女とも70歳代以上で高くなっている。「学習・自己啓発」という回答は、男女とも20歳代で高くなっている。



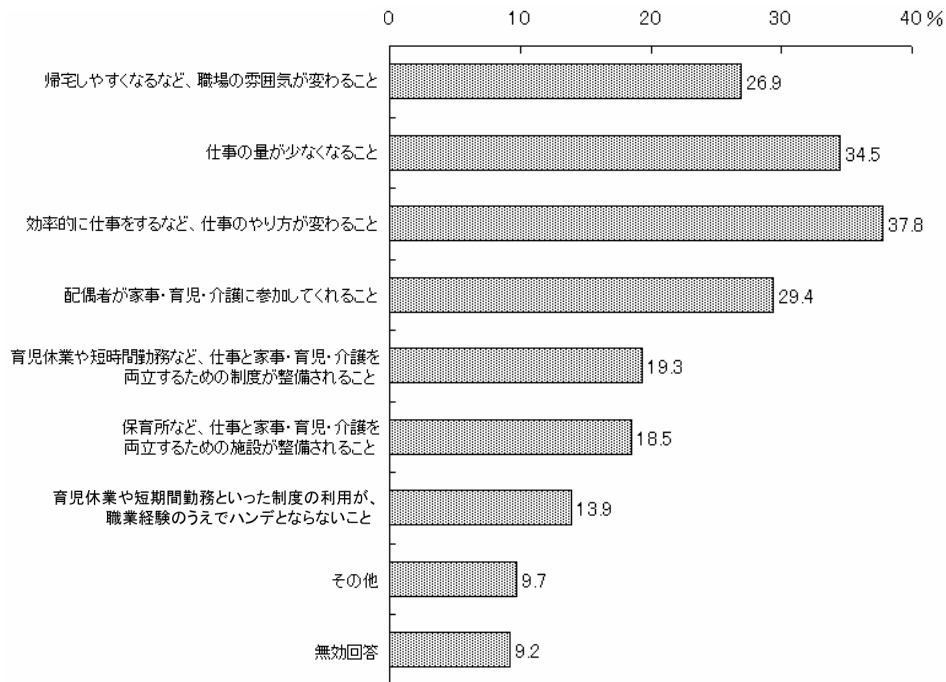
(3) 自分が希望する時間の取り方ができるために必要なこと

問16 どのようにすれば、自分が希望する時間の取り方ができると思いますか。

【〇はいくつでも】

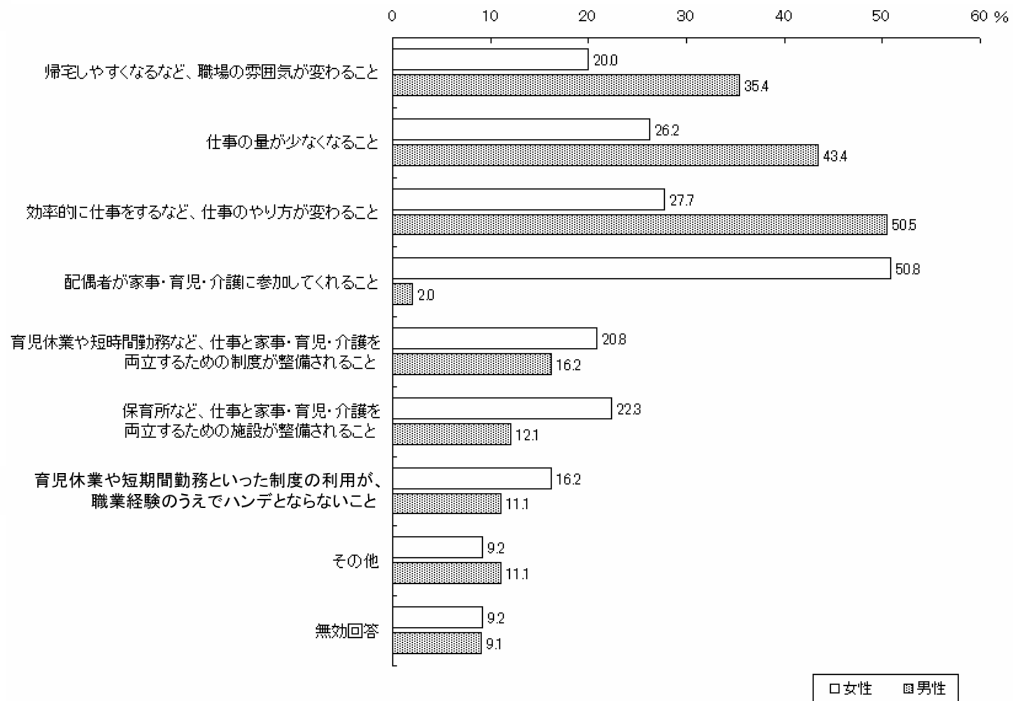
どのようにすれば、自分が希望する時間の取り方ができるかについて、「効率的に仕事をするなど、仕事のやり方が変わる事」(37.8%)と回答した者が最も多く、次いで「仕事の量が少なくなる事」(34.5%)、「配偶者が家事・育児・介護に参加してくれる事」(29.4%)、「帰宅しやすくなるなど、職場の雰囲気が変わる事」(26.9%)となっている。

N = 238



性別にみると、「効率的に仕事をするなど、仕事のやり方が変わることで 22.8 ポイント、「仕事の量が少なくなることで 17.2 ポイント、「帰宅しやすくなるなど、職場の雰囲気が変わることで 15.4 ポイント男性の方が女性よりも多くなった。一方、「配偶者が家事・育児・介護に参加してくれること」は圧倒的に女性が多くなっている。

N = 130 (女性)
99 (男性)



性別／年齢別にみると、「仕事の量が少なくなること」については、20歳代女性と20歳代～50歳代男性で高くなっている。「効率的に仕事をするなど、仕事のやり方が変わること」については、男性で年齢が低いほど高くなる傾向がみられる。「配偶者が家事・育児・介護に参加してくれること」については、女性で年齢が低いほど高くなる傾向がみられる。

